

| | |
|---------------------|---|
| <p>タイトル</p> | <p>2020 年度 推薦入試・帰国生入試・社会人入試 医学部保健学科 小論文Ⅱ問題</p> |
| <p>評価の ポイント</p> | <p>1 -1 課題文全体を読んで、設問に該当する部分を見つけ、それをわかりやすい文章に構成できているかどうかを評価した。</p> <p>1 -2 課題文の論旨を的確に把握し、設問の下線部 2 について筆者の見解を要約したうえで、自分の考えについて、文章をわかりやすく構成して他者を説得できる力があるかを評価した。 評価にあたっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション能力が高いロボットが開発されてもコミュニケーションによる人間の心のケアがロボットにできるか、心のケアは人が行うことが望ましいと説明している個所を見出して、要約できているか。 ・ 「ロボットと人間の関係性がひっくり返るという懸念」について、課題文の論旨をふまえて、具体的に考えを述べているか。 <p>2 -1 課題文全体を読んで、設問に該当する部分を見つけ、それをわかりやすい文章に構成できているかどうかを評価した。</p> <p>2 -2 課題文の論旨を的確に把握し、要約し、筋道の通った文章に構成できているかを評価した。 評価にあたっては、次の点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本遊びが親子関係にもたらす効果について説明している個所を見出して、要約できているか。 ・ 絵本遊びにおける母親の応答性について、課題文の例をふまえて、具体的に説明できているか。 |

小論文Ⅱ 解答例

1-1

高齢化率が 42.2%に達していたにもかかわらず、80 代や 90 代のお年寄りたちが仕事を持って生き生きと暮らし、老々介護の助け合いが機能していたから。(73 字)

1-2

筆者は介護職よりもコミュニケーション能力が高いロボットが開発され、人間の役割は古典的な身体介助になり、コミュニケーションによる心のケアをロボットが行うようになることを懸念している。どんなにコミュニケーション能力が高い介護ロボットが開発されても、対象者に寄り添い感情の変化に対応できるケアを、ロボットができるのか疑問に感じる。コミュニケーションによる心のケアは人が行った方が望ましいと考える。(195 字)

2-1

絵本遊びを通して、大人はより子どもの行動や内面に注意を配り、その結果、子どもへの関心や期待が高まる可能性が考えられること。また、絵本遊び場面において母親が子どもの発達に合わせて働きかけの方略を変化させていることや、子どもの発達に伴い、言語的やりとりの主導権が母親から子どもに移っていくことなど。(147 字)

2-2

幼い子どもの場合、絵本遊びは読み手という大人の存在が不可欠である。絵本遊びにおける母親の子どもに対する働きかけは、子どもに合わせて調整されつつ行われるものであることから、絵本遊びでは母親の応答的な反応が生起しやすい可能性がある。母親の応答性は、安定した母子愛着形成の主要な要因の 1 つであり、絵本遊びでは、母親の応答性が安定した母子愛着形成をもたらし、親子関係により効果をもたらすと考えられる。(196 文字)